

アピール (案)

本日、平成27年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を目指し「平成27年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

今年は、北方四島が不法占拠され70年となる歴史の節目の年です。何故、北方領土問題が解決されないのか強い怒りを禁じえません。この間、北方領土を故郷とする元島民の多くの方々は、故郷に戻るとの願いが叶わず亡くなりました。解決がこれ以上長引くことを断じて許すわけにはいきません。

日露両国は平成25年4月の日露首脳会談で平和条約締結に向け、交渉を加速することに合意し、これを機に活発な外交交渉が展開されてきました。ウクライナ問題の影響を受け、交渉の停滞が危惧されましたが、先の首脳会談で交渉の継続が確認されました。

こうした現状を踏まえ、私たちは、「北方領土の日」制定の基本である北方領土問題を解決し、日露両国間に平和条約を締結し、両国間に真の平和と友好が構築されることを求め、今後も北方領土の返還要求運動に取り組みます。

本大会では、戦後70年の今年こそは領土問題の解決に向け、日露関係の新時代を迎えることを目指し、政府と国民が一体となり、これまで以上に国内外に向け広範な返還要求運動を展開し、さらに領土問題解決に向けた日露両国間の交渉を加速することなど、返還実現に向けて役割を果たす意思の統一が確認されました。

私たちは、一刻も早い北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一. 私たちは、北方四島の返還実現を目指し行動を推し進めます。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭など、あらゆる場で啓発活動を行うとともに、返還実現に向け政・官・民のさらなる団結を深めます。
- 一. 私たちは、全国の仲間との連携をさらに深めるとともに、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流など、あらゆる機会を活かし、ロシア国民に北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを強く訴えます。
- 一. 私たちは、択捉島の紗那に残存する日本の建物保存に取り組みます。

平成27年2月7日北方領土の日

平成27年北方領土返還要求全国大会